

公益財団法人 電磁応用研究所

平成 26 年度事業計画書

自 平成 26 年 4 月 01 日 至 平成 27 年 3 月 31 日

I 環境認識

1.1 はじめに

創設者 川原田政太郎は電磁誘導同期モータを発明し 1940 年代の産業の基盤となる数々の装置を開発した。電磁気学の領域で説明できる自然現象を発見し、その原理を理論体系化すると同時に工学的応用の仕組みを工夫する行為を『電磁応用研究』と表現した。

継電器や電動機を代表とする電磁部品による、テレビジョン、計算装置、電話交換機、電気時計などや、太陽光や電磁界誘導によるエネルギーの伝送の仕組みなどの実現を試みている。

70 年前に目指した研究課題は、今日まで急速に発展し産業として拡大した『電気・電子・情報・通信』に関する技術課題と重なるものであった。旧財団法人は大学の教室との連携による研究活動によって一定の使命を果たしたと考えられる。

川原田政太郎が財団法人を創設したのは昭和 18 年 3 月であるが、創設者の遺志を受け継ぎ平成 25 年 11 月 7 日公益財団法人に移行した。

この新しい財団は数理計算技術環境の歴然たる進化に基づく新たな学術体系の再構築、従前実現が不可能であったが新たなデジタル技術環境の出現によって創生される産業の構築など、未来を志向した研究課題に焦点を当てた研究活動の場の再構築を使命として、公益事業としての研究機関の存在価値を高める事業活動を行うこととする。

1.2 直近の環境整備の課題

当財団は私財の寄付金が原資であり、従来基本財産の運用利金によって事業を行ってきた。そのため、低金利の 20 年間において、慢性的に財産のとり崩しにより、業務を推進してきた。移行申請において公益事業の財務諸表の作成に当たり、適切な事業収入の確保が不可欠であることが明らかになっている。この状況を抜本的に改善し事務局体制を整備するとともに、先進的な研究課題の着手に当たり、広く支持者を仰ぐ必要がある。

具体的には、本年度次の作業を行う。

○政太郎記念ホールの整備、機関紙の WEB による発行。

○研究員の募集

○委託研究テーマ。共同研究テーマの推進

○公共目的電子図書館の整備支援

○コンテンツ・クリエーション・コミュニケーション学会の再興

○GITI-Alliance 事務局組織の実現

II 事業計画

2.1 事業1. (研究・開発・運用)

自主研究、委託研究テーマ、共同研究テーマの推進

○新規研究課題検討打ち合わせ会

まず、基本構想の核となる技術の特許申請を行うための作業を行い、実用化のためのイメージを明確にして関連機関の参画を勧誘する。

① 深海ザメロボット構想の研究会

⇒海洋・水中における情報通信技術の研究、基本構想の特許申請

② 永久磁石電磁誘導ディスクモーターの研究会

⇒パルス駆動によるディスクモーターの設計、およびその性能実験の検討

⇒電気自動車における制御系の情報通信システム検討

⇒電気自動車を情報端末器とするネットワークシステム構築の提案

(社会機能・環境・制度、および人間工学にかかわる分野)

○CeBook 研究会

CeBook 研究会構成員により開発したシステムの運用を志向する。

① 画像電子学会の学会誌、研究会資料の配信システムの確立

② 学位論文の CeBook 化作業体制の確立

③ 早稲田大学 GITI 組織の解散後の受け皿の組織の確立を検討する。

④ 絵本出版社の協力をえて、絵本の CeBook 配信サービスシステムの設計・運用

対象は保育園園児・保母・父母をとする。

⑤ 未来予測技術資料を題材例とし、CeBook による SNS システムの設計・運用関連学会との連携を図る。

⑥ 「公共目的電子図書館の整備支援市町村・学校などの図書館に対する CeBook システムの導入の勧誘を行い、図書館業務の支援を行う。CeBook 研究会の成果物の閲覧の方策を提示する。

⑦ コンテンツ・クリエイション・コミュニケーション学会の再興

大学における研究成果、専門学校における作品、プロダクションからの学校教育における再利用可能な作品、を募集して、コンテンツの制作者の著作権の根拠を確立する組織を確立する。

2.2 事業2. (人材育成、セミナー、フォーラム)

○連携大学院 (GITI-Alliance) 事務局機能の実現

早稲田大学 GITI 組織の解散後の受け皿の組織の確立を志向する。

① ICT 研究大学院のネットワーク化に資する共同研究テーマの設定を図る。

② GITI Forum, BNC Forum を 共催する。

○既存研究会

- ① 通信技術懇談会（当該会員規則による運営）
⇒年3回を予定、登録メンバーによる会合
- ② 住環境情報システム研究会（研究委員会規則による運営）
⇒研究施設の建替え計画に資する会合
- ③ 老テック研究会（当該会員規則による運営）
⇒毎週土曜の午後、パソコン教室指導者の勉強会の開催
- ④ GITI-A（連携大学院研究会）はGITI-Allianceとして整理統合

2.3 研究員の募集

事業1及び事業2を推進する研究員を計画的に募集する（本年度は2名を予定）

- 資格：大学院博士後期課程在学中、または博士後期課程を希望する修士または学部在籍している者
- 勤務：文部科学省の科研費申請資格に合致する勤務とする（社会人学生研究員）
- 条件：指導教授に別途共同研究または委託研究の契約をむすび、そのテーマを推進する。

III 法人事業

3.1 施設整備

研究所施設のある青山第一マンションズは耐震構造の確保のための付加価値をつけた建替え工事を予定している。そのため次のフェーズでの研究環境維持を行う。

- ① 建替え前の3年間の施設利用環境の整備・運用の適切な実行
 - 研究所施設の研究室・会議室・政太郎記念ホールの利用環境の整理
 - 機関紙のWEB発行
- ② 建替え工事期間約2年間の転居施設での研究環境維持のための方策の検討。
- ③ 建替え後における、現状より付加価値のある施設運営体制の設計・構築・運営方策の企画検討
- ④ そのため、建替準備金の積み立てを7年間行い（目標額4000万円）、一般正味財産を指定正味財産に振り替える。

3.2 法人的行事

評議員会、理事会、研究委員会の開催

次のように予定する

- 評議員会：平成26年度第1回：6月中旬、
平成26年度第2回：来年3月中旬
- 理事会：平成26年度第1回：5月中旬、
平成26年度第2回：来年3月初旬
- 研究委員会：平成26年度第1回：6月中旬、
平成26年度第2回：来年3月中旬

なお、理事会、および研究委員会は必要が生じた場合、随時開催する

以上